〈 2017年5月20日（土）午前 〉

		A会場 ： N101講義室	B会場 ： N201講義室	C会場 ： N301講義室	D会場 ： N203講義室	E会場 ： N204講義室
9:00 10:00	受付					
10:00	1	小森 淳子 中川 裕 東京外国語大学 コイサン3語族を横断する音韻特徴：遺伝子的距離との関係	藤本 武 五野 日路子 東京農業大学 マラウイにおけるフードセキュリティー：村落実態調査における結果から	松田 素二 藤山 真由美 神戸大学 コートジボワール西部における内戦後の土地を巡る紛争	フォーラム 「国家形成につながらない国家形成の＜試み＞」 岡野 英之 立命館大学 趣旨説明 ーアフリカにおける statehood をめぐる政治学・人類学ー 橋本 栄莉 高千穂大学 秩序ある無政府状態と秩序なき国家ー南スーダンにおける地域的武装勢力の組織化と連帯ー 古澤 嘉朗 広島市立大学 国際社会によるチーフダム警察支援についての考察 森口 岳 学習院大学 王国と共和国：ウガンダにおけるバントゥー系文化的首長と亜国家の形成の＜試み＞について 西 真如 総合地球環境学研究所 民族自治から治療のシチズンシップへーエチオピアの統合危機と Paraー Democracy の台頭ー	伊谷 原一
10:15	2	牧野 友香 大阪大学 ランバ語の過去テンスに見る時間の区分	八塚 春名 日本大学 「雑草」を増やす タンザニア、サンダウェによる耕地の「ニセゴマ」管理	藤井 広重 東京大学 南アフリカにおける国際刑事裁判所脱退議論に関する一考察：市民社会組織の役割を中心に		
10:30	3	米田 信子 大阪大学 ガンダ語の多重目的語構文 ー3つの目的語の現れ方ー	Tamahi Kato-Yamauchi Kyoto University Were female-headed households prioritised in receiving agricultural input vouchers? - the case of Tanzania	川口 博子 京都大学 参加するべき被害者か？平和をさがす人びとか？ウガンダ北部における国際刑事裁判所による被害者参加活動を事例に		
10:45	4	沓掛 沙弥香 大阪大学 東アフリカにおける英語	坂井 真紀子 東京外国語大学 カメルーン西部州における野菜の生産と販売 ー女性小売商のネットワークと定期市に注目してー（仮）	味志 優 東京大学 汚職とその周辺概念をめぐるダイナミズム ー法とモラルが同居する「公」概念の動態性の研究に向けてー		
11:00	5	米田 信子 河内 一博 防衛大学校 通言語的に稀なシダーマ語の原因・理由構文	今井 一郎 石川 博樹 東京外国語大学 ポルトガル植民地期 PALOP における南米原産作物栽培：アンゴラとモザンビークを中心に	太田 至 山崎 暢子 京都大学 難民と地域住民の社会関係にかんする予備的研究		伊谷 原一 橋本 千絵 ほか 京都大学 野生ボノボにおける出産後のメスの性サイクルの再開について
11:15	6	Seunghun J. Lee ほか International Christian University Preliminary report of Yes-No question intonation in Xitsonga	田 暁潔 京都大学 子どものライフヒストリーから見る民族生物学的知識の生成 ーケニア牧畜民マサイに着目してー	村橋 勲 京都大学 難民開発援助と生政治 ーウガンダの難民支援 NGO の活動から	堀内 隆行 中尾 世治 南山大学 人頭税と植民地経済 1920年代のオート・ヴォルタ植民地における財政	古市 剛史 古市 剛史 京都大学 見えてきたボノボの進化 最新の研究成果から
11:30	7	Nobukatsu MINOURA Tokyo University of Foreign Studies On benefactive marking in Malagasy Sign Language (TTM)	Regina Hoi Yee Fu Hosei University A preliminary study on vulnerability of nomadic pastoralists in Nigeria to climate change	中西 美絵 大阪大学 南スーダン難民における紛争に伴う悲痛な体験とケアの受領	苅谷 康太 東京外国語大学 17世紀の西アフリカ・ムスリム社会における奴隷売買の基準 アフマド・バーバー『階梯』の分析	伊谷 原一 ほか 京都大学 ボノボ分布南西限界域における生息分布と密猟問題
11:45	8	小森 淳子 大阪大学 ニジェール・コンゴ諸言語の動詞の態（Voice）に関する類型論的考察	大山 修一 京都大学 「逆転の発想」による荒廃地の環境修復と紛争予防 ーニジェール・ニアメ首都圏における有機ゴミの収集と緑化活動ー	米川 正子 立教大学 難民の地位の終了条項を検証する ールワンダの事例からー	富永 智津子 宮城学院女子大学 アフリカにおけるLGBTの過去と現在	Naobi Okayasu ほか Japan Monkey Centre 世界自然遺産「サンガ多国間ランドスケープ」内ロペケセクターの大型・中型哺乳類個体群の動態
12:00 13:30	昼食・評議員会（中校舎（M館）2階第1会議室）					

〈 2017年5月20日（土）午後 〉

		A会場 ： N101講義室	B会場 ： N201講義室	C会場 ： N301講義室	D会場 ： N203講義室	E会場 ： N204講義室
13:30	9	竹村 景子 小野田 風子 大阪大学 スワヒリ語作家ユーフレイズ・ケジラハビとタンザニア政治 ― 曖昧さの要因 ―	杉山 祐子 瞿 黄祺 京都大学 漁撈堰を用いた灌漑システムの創発 ータンザニア・ニャサ湖畔の事例ー	北川 勝彦 John Ngoy Kalenga Hokkaido University Adapting the Japanese management style to exploit copper metal in the neo-colonial era of Katanga region of DR Congo	手代木 功基 山縣 耕太郎 上越教育大学 ケニア山, Tyndall 氷河前面における土壌発達過程	フォーラム 「ガーナにおけるグラスカッター飼育プロジェクト」 村山 美穂 ほか 京都大学 在来家畜生産の効率化によるガーナの食料事情向上支援 牛田 一成 ほか 京都府立大学 グラスカッター由来の乳酸菌とその産業的利用価値 大屋 賢司 ほか 岐阜大学 グラスカッターの微生物学的解剖 松浦 直毅 ほか 静岡県立大学 新規家畜の導入が住民生活にもたらす効果
13:45	10	砂野 幸稔 熊本県立大学 マーム・ユヌス・ジェン『アーウォ・ビ（第一夫人）』が語る価値	中澤 芽衣 京都大学 ウガンダ南西部の多民族農村における移入年と土地保有にみられる格差	ペドロ・ミゲル・アマカス・ラポウズ・デ・メダイルス・カルバーリュ リスボン大学 ルソフォン（旧ポルトガル領）アフリカにおける日本の役割の進展	大谷 侑也 京都大学 ケニア山における氷河縮小が山麓地域の水資源に与える影響	
14:00	11	Mamadou CISSE Université Cheikh Anta Diop de Dakar The daara literature, an example of esthetic appropriation	藤本 武 富山大学 シェアリングの諸相 エチオピアの農耕民マロの作物共有をめぐって	池野 旬 京都大学 タンザニアの土地権に関する一考察 ー1999年村落土地法を素材としてー	水野 一晴 京都大学 ケニア山とキリマンジャロにおける近年の氷河縮小、植生変化、環境保護	
14:15	12	品川 大輔 東京外国語大学 シェンの2つの流動性	大山 修一 竹中 浩一 国際農林水産業研究センター エチオピア北部高原における*Acacia etbaica*林の「囲い込み」と住民の関わり	島田 周平 名古屋外国語大学 ナイジェリアの南北間対立の新展開	門村 浩 東京都立大学 地球変動の中のアフリカ ー2016/17 年シーズンの顕著な気象・水文イベントー	
14:30	13	鈴木 裕之 ウスビ・サコ 京都精華大学 サハラ交易主要都市都市の世界文化遺産データベース構築と保存・修復の実態 その③ ジェンネ大工の無形文化遺産としての建設・修復儀式について	多良 竜太郎 京都大学 炭焼き用に択伐される樹種 ータンザニア・ミオンボ林の事例ー	フォーラム 「みすごしてきたアフリカの家畜に潜む感染症の問題」 神田 靖範 ほか CDCインターナショナル (1)牛肺疫とアナプラズマ病の同時発症について 伊谷 樹一 ほか 京都大学 (2)繰り返されるアウトブレイクの内部要因		
14:45	14	川田 順造 神奈川大学 モシ王国(ブルキナ・ファソ)の太鼓言葉について－50年来の研究の到達点－	藤田 知弘 国立環境研究所 野火発生抑制が熱帯林種の定着を可能とする			
15:00 15:15	（移動・空き時間）					
15:15 16:15	ポスター発表（コアタイム）（図書館2階視聴覚室）					
16:15 16:30	（移動・空き時間）					
16:30 17:45	総会・研究奨励賞授賞式（図書館2階視聴覚室）					
17:45 18:00	（移動・空き時間）					
18:00 20:00	懇親会 THE SAIHOKUKAN HOTEL（長野ホテル犀北館）					

〈 2017年5月21日（日）午前 〉

			A会場 ： N101講義室		B会場 ： N201講義室		C会場 ： N301講義室		D会場 ： N203講義室
8:30 9:00		受付							
9:00	15		フォーラム 「アフリカ独立期における文化の政治：『プレザンス・アフリケーヌ』研究」 佐久間　寛 東京外国語大学 趣旨説明 中村　隆之 大東文化大学 「国民詩」論争とは何だったのか？ 吉田　裕 東京理科大学 第一回黒人作家芸術家会議における英語圏作家について 小川　了 アフリカ学会員 Hosties noires に至る道 プレーズ・ジャーニュからL. セダール=サンゴールへ	池野　旬	浅田　静香 京都大学 ウガンダにおける新しい調理用エネルギー源の導入と受け入れ チェゲゲワ県チャカⅡ難民居住地を事例に	武内　進一	網中　昭世 アジア経済研究所 モザンビークにおける民主化後の政治暴力： 野党と除隊兵士に注目して	阿久津　昌三	落合　雄彦 龍谷大学 アフリカ植民地精神医学史研究事始め
9:15	16				原 将也 京都大学 ザンビア北西部における多民族農村の移住にみられる「保証人」の役割		岩田　拓夫 立命館大学 「下からの政治」としての笑い		足達　太郎 東京農業大学 アフリカ昆虫学史試論 2. ICIPE の役割と日本の関与
9:30	17				平井　將公 日本森林技術協会 森林保全に果たす住民主導調査の可能性 ーカメルーン東部州の事例ー		澤田　昌人 京都精華大学 コンゴ民主共和国東部における武装勢力掃討の余波 -治安の悪化と民族間対立-	山田　肖子	高田　明 京都大学 植民地期の南西アフリカ（現ナミビア）北中部における教育媒介言語
9:45	18				杉山　祐子 弘前大学 植林プロジェクトの「その後」と在来化する技術 「タンザニア緑の推進協力プロジェクト」の事例を中心に		遠藤　貢 東京大学 ソマリア：連邦制への課題		小川　未空 大阪大学 ケニア農村部における中等学校の受容と発展 ー学校とコミュニティの関わりからー
10:00	19		村津　蘭 京都大学 新宗教における「妖術師」の現れ ーベナン南部の新宗教教団Jに注目してー		友松　夕香 東京大学 農業のジェンダー化された経済		フォーラム 「コンゴ民主共和国における紛争後の農村変容」 木村　大治　ほか 京都大学 (1)趣旨説明，ワンバ地域の経時的変化 山口　亮太 京都大学 (2)コンゴ民主共和国の農耕民ボンガンドの食料獲得 高村 伸吾 京都大学 (3)コンゴ東部における水陸ネットワークの再生と社会変容 武内　進一　ほか 日本貿易振興機構アジア経済研究所 (4)人口希薄地帯における土地囲い込み —コンゴ民主共和国西部の事例—		澤村　信英 大阪大学 ケニア北西部カクマ難民キャンプにおける教育機会と就学実態
10:15	20	小泉　真理	池邉　智基 京都大学 イスラーム共同体における労働実践 セネガルのムリッド教団におけるバイファルの事例	田原　範子	藤本　麻里子 京都大学 ザンジバルの漁村におけるダガー漁獲量の年変動と地域経済への影響 2013年～2016年の3年間のデータより			澤村　信英	谷口　京子 名古屋大学 マラウイの農村部の公立小学校における退学の要因 ～生存分析～
10:30	21		盛　恵子 国立民族学博物館 ガーナのニアセンにおけるタルビヤの神学的理論		中村　亮 福井県里山里海湖研究所 スワヒリ海岸キルワ島における魚需要の増加と海村経済の展開				福西　隆弘　ほか アジア経済研究所 職業教育と若者の就業：エチオピアの労働者データを利用した分析
10:45	22		江端　希之 京都大学 マダガスカル・イメリナ地方における聖地ドゥアニの生成と発展 ー守護者ビアンジュの役割に注目してー		伊藤　紀子 農林水産政策研究所 食料分配と持続可能な開発 ケニア灌漑事業区農民によるコメの消費過程の分析を通じて				山田　肖子 名古屋大学 学習者が選び取る技能形成の手段： ガーナ国クマシの職業教育訓練機関の自動車修理関連分野の学生の場合
11:00	23		古謝　麻耶子 沖縄県立芸術大学 ショピ音楽の新たな展開 首都マプト市でミュージシャンとして生きるティンビラ奏者の音楽活動		友久　保彦 一橋大学 ガーナ地方都市における開発の影響 ーヴォルタ川開発ボン地域を事例にー		藍澤　淑雄 秋田大学 タンザニアの鉱山コミュニティにおける零細鉱業者の互酬性 恩顧主義的関係性と規範的互酬性の関係の考察		善積　実希 京都大学 障害者と非障害者のインタラクションを考える ーケニア・サンブル県の障害者支援施設の事例からー
11:15	24	ウスビ　サコ	大谷　琢磨 京都大学 ウガンダ都市部におけるバイクタクシー運転手の相互扶助に関する研究		近藤　菜月 名古屋大学 革命期におけるガーナ農村部の自助運動と活動家のライフストーリー	平野（野元）美佐	丸山　淳子 津田塾大学 ボツワナにおける「ブッシュマン観光」の成立とその展開	落合　雄彦	井田　暁子 フランス国立社会科学高等研究院／国際協力機構 子どもの痛みをめぐる患児・家族・医療者の語りのずれとその社会的文脈 ーセネガル共和国ダカール市の小児科病棟における質的分析ー
11:30	25		安田　章人 九州大学 南アフリカ共和国におけるスポーツハンティング	分藤　大翼	桐越　仁美 京都大学 西アフリカにおけるコーラナッツ交易を通じた若者のビジネス展開		斎藤　文彦 龍谷大学 南アフリカにおけるグリーンエコノミーの可能性		國枝　美佳 東京大学 予防接種率調査が教えてくれることニジェール国ニアメ市で454の母子手帳を調査
11:45	26		和崎　春日 中部大学 アフリカ人スポーツ選手の東南アジア展開 ーベトナム・プロサッカーリーグにおけるアフリカ人選手の活動		上田　元 一橋大学 タンザニア・メル山地域における在村製材活動と製材品流通		稲泉　博己 東京農業大学 南アフリカ・リンポポ州における家庭菜園実践者の想い		Sikopo Nyambe　ほか Hokkaido University Gauging the Sanitation and Health Challenge for Children and Youth in the Urban Slums of Lusaka, Zambia
12:00	27				江刺　和広　ほか 元青年海外協力隊 コートジボワールおよび周辺国におけるタマネギの保存				

〈　2017年5月21日（日）午後　〉	
13:10 16:00	公開講演会 （図書館2階視聴覚室）

ポスター発表（コアタイム：5月20日（土）15:15～16:15）

図書館2階視聴覚室

P1　宮木　和 京都大学 人びとは放牧地の囲い込みをどのように縮小したのか？ ータンザニアの牧畜民ダトーガの事例ー	P2　山本　佳奈 京都大学 人口圧と農牧複合：タンザニア・ポジ高原における牛群の世代更新と家畜商の関わり	P3　伊藤　千尋 広島女学院大学 カリバ湖の商業漁業（カペンタ漁）における漁法の成立とその背景	P4　今井　一郎 関西学院大学 マラウイ湿原域における漁撈活動についての一考察　ーチルワ湖南部の事例から	P5　吉田　早悠里 名古屋大学 20世紀初頭エチオピア民族誌的資料のアーカイヴス構築
P6　森尾　貴広 筑波大学 2014年度および2015年度における日系企業のアフリカ進出動向の比較	P7　宮道　一千代 長崎大学 セネガル国でのCommunity-led Total Sanitation成果測定: ハードと組み合わせたJICA技術協力プロジェクト	P8　増田　研　ほか 長崎大学 ザンジバルにおける学部生の現地調査と学びの広がり 長崎大学多文化社会学部「海外フィールドワーク実習」の実践の報告	P9　綾仁　荘子 京都大学 マダガスカルの国立公園における イヌの行動と人びとのイヌに対する意識	P10　安岡　宏和　ほか 京都大学 カメルーン東南部の熱帯雨林における複数の方法によるダイカー類の密度推定
P11　山科　千里 筑波大学 マラウィ北部、ミオンボ林におけるシロアリ塚植生の特徴	P12　手代木　功基 摂南大学 ケニア山, Tyndall 氷河後退域における大型半木本性植物の分布	P13　佐藤　廉也 大阪大学 森の樹木に関する知識の継承と個人差 ーエチオピア南西部・マジャンギルにおける利用知識調査ー		